

57 中世ヨーロッパの服飾（第1報）

お茶の水女子大 吉野ふさ代

西洋服飾史に於ける中世服の一つの意義は、それが近世以降の服装の造型的の原型となっている点にある。この造型的の原型が導き出される過程を、10世紀前後から15世紀までの服装を対象として考察した。そこには一連の複雑化の傾向を把握することが出来るが、その複雑化の傾向は、製織、裁断、縫製等の技術的の進歩によっておし進められる。しかし一方、より本質的には、当時の封建的の社会や、宗教的の意味を直接的に反映するという特殊事情によっていたことを見逃すわけにいかない。